

1 学校教育目標（知）

自ら学習力の向上に努め、自立的に学び続けていく力を伸ばします。

2 教科の目標

生活の営みに係る見方・考え方や技術の見方・考え方を働かせ、生活や技術に関する実践的・体験的な活動を通して、よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、生活を工夫し創造する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

(1) 生活と技術について基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付けるようにする。

(2) 生活や社会の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、表現する力を養う。

(3) より良い生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、生活を工夫し創造しようとする実践的な態度を養う。

3 評価の観点及びその趣旨

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<p>[技術分野] 生活や社会で利用されている技術について理解しているとともに、それらに係る技能を身につけ、技術と生活や社会、環境との関りについて理解している。</p> <p>[家庭分野] 家族・家庭生活の基本的な機能について理解を深め、生活の自立に必要な家族・家庭、衣食住、消費や環境などについて理解しているとともに、それらに係る技能を身につけている。</p>	<p>[技術分野] 生活や社会の中から技術にかかわる問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、表現するなどして課題する力を身につけている。</p> <p>[家庭分野] これからの生活を展望し、家族・家庭や地域における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価改善し、考察したことを論理的に表現するなどして課題を解決する力を身につけている。</p>	<p>[技術分野] よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、技術を工夫し工夫し創造しようとしている。</p> <p>[家庭分野] 家族や地域の人々と協働し、よりよい生活の実現に向けて、課題解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し創造し、実践しようとしている。</p>

4 評価の仕方

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<p>○授業課題 ワークシートやレポート、作業への取り組み方を評価します。</p> <p>○学習カード 記述内容から知識や技能が身につけているかを評価します。</p> <p>○作品 作品の中間採点や完成作品で技能が身に付いているかを評価します。</p> <p>○単元テスト 単元テストで知識や技能の定着を図る問題を出題し、評価します。</p>	<p>○授業課題 ワークシートやレポート、作業への取り組み方を評価します</p> <p>○学習カード 授業内容について問題を見いだし、課題解決の方法を考えているかを評価します。</p> <p>○作品 作品を通して考え、工夫し、課題を解決する力を身につけているかを評価します。</p> <p>○単元テスト 単元テストで思考・判断・表現の定着を図る問題を出題し、評価します。</p>	<p>○授業での観察 学習課題や作業への取り組み方、それらの振り返りを評価します。</p> <p>○学習カード 記述内容から、意欲をもって学習に取り組んでいるかを評価します。</p> <p>○ワークシート 記述内容から、問題を見出し課題解決に向けて考えているかを評価します。</p>

※ 3つの観点には軽重はありません。観点別評価の換算値で評定を算出します。

※ それぞれの観点の中の評価方法には軽重があります。(例 授業課題より実技テストの比重が大きい等)